

報道関係各位

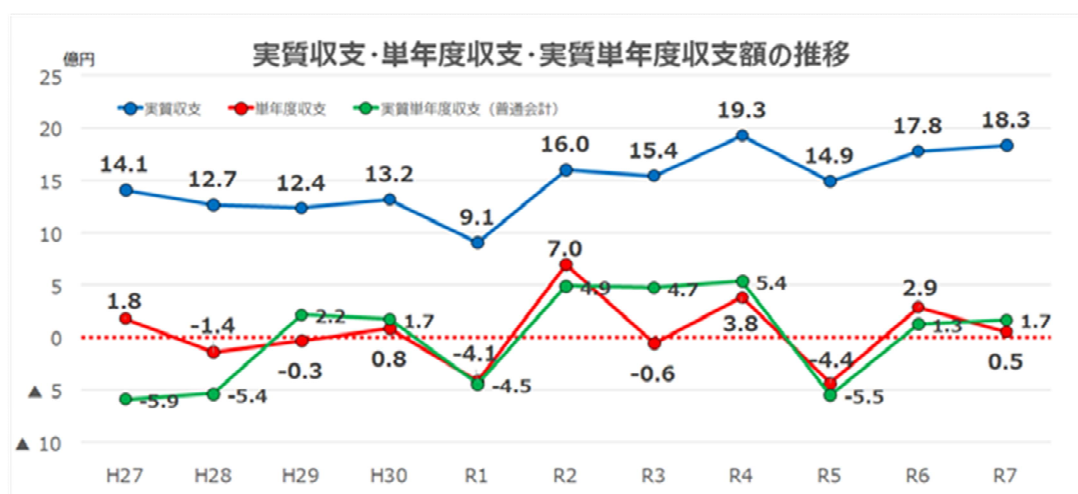
件 名 飯能市緊急財政対策について

内 容

(1) 令和7年度決算による実質収支額について

緊急財政対策期間の初年度の一般会計決算は、歳入総額 349 億 2,021 万 6 千円、歳出総額 330 億 3,709 万 6 千円で歳入歳出差引額が 18 億 8,312 万円、翌年度に繰り越すべき財源 4,931 万 9 千円を差し引いた実質収支額は 18 億 3,380 万 1 千円となり、令和6年度の実質収支額が 17 億 7,927 万 3 千円であったことから、5,452 万 8 千円の増加となりました。

なお、過去 10 年間の実質収支・単年度収支・実質単年度収支額の推移は、以下のとおりです。



※単年度収支額…当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額。過去からの蓄積を除き、当該年度だけでどれだけ黒字や赤字が増えたかが分かる。

※実質単年度収支額…単年度収支額から財政調整基金への積立て・取崩し及び市債の繰上償還を加減した額。調整的な基金活用等を除いた純粋な財政バランスが分かる。

(2) 財政調整基金・減債基金の残高見込みについて

令和8年9月補正は、例年どおり前年度繰越金の全額を計上するとともに、決算額の確定に伴う特別会計、一部事務組合などからの返還金のほか、国・県からの負担金・補助金に関する過年度収入・過年度還付を計上しました。このほか、緊急経済対策に関する経費や必要となる経費に一般財源を投入しましたが、財政調整基金等の積立金を増額計上することとしました。

令和8年9月補正後時点での残高見込みは次のとおりです。

区 分	6月補正後	補正増減	9月補正後
財政調整基金	1,394,576 千円	+400,000 千円	1,794,576 千円
減債基金	309,824 千円	+212,450 千円	522,274 千円
合計 (財源調整2基金)	1,704,400 千円	+612,450 千円	2,316,850 千円

(3) 緊急財政対策プランの完了に向けて

緊急財政対策プランで掲げた2つの目標の達成に向けて進捗していることから、計画期間である令和8年度末での完了に向けて全庁で取り組んでまいります。

【目標①】

令和8年度末までに年度間調整機能を有する財政調整基金及び減債基金の2つの基金(財源調整2基金)の合計残高を、本市の標準財政規模の10%以上確保します。

クリア指標：令和8年度末での決算残高

現状：令和8年度標準財政規模 約202億5,000万円→10%：約20億2,500万円

令和8年9月補正後時点残高見込み：約23億1,685万円

上記補正後以降、人件費・社会保障費等の増加対応に1～2億円活用を想定

⇒令和9年3月末残高見込み：21～22億円

【目標②】

歳入規模に応じた、適正かつ持続可能な予算規模を見極め、歳入に見合った歳出への転換を図ります。

なお、この目標については、事務事業の総点検等による歳入の確保と歳出の抑制により、令和9年度当初予算における収支乖離予想額8.7億円を財政調整基金及び減債基金による補てんに頼ることなく編成することを成果とします。

クリア指標：令和9年度当初予算への基金繰入額

取組：総合振興計画実施計画策定・予算編成の一体的実施

⇒政策的経費、歳入フレーム等を共有し、枠配分方式による予算編成を実施

基金運用方針の策定（基金残高の段階的水準等を設定）

⇒本市独自の基金健全化判断基準（精査・検討中）を設定し、財政調整基金・減債基金に過度に頼らない予算編成を実行

担当

財政課長 奥 孝明

電話 042-973-2111

（内線 320）8月28日まで

（内線 3301）8月31日以降